



# 大日本帝国憲法がもたらした「明治という奇跡」

## 産経新聞客員論説委員・新しい歴史教科書をつくる会副会長 皿木 喜久様

### 卓話者紹介

### 山下 憲男委員長

昭和22年、鹿児島県生まれ。46年京都大学文学部卒業、産経新聞社入社。大阪本社社会部、東京本社政治部次長、特集部長、論説委員長などを経て、平成27年退社。現在、産経新聞客員論説委員、新しい歴史教科書をつくる会副会長です。

今年、「明治の精神」について問うた『明治という奇跡』という本を書きました。そこで必ずといって聞かれるのが「今なぜ明治なのか」ということです。2年後の2018年9月が1868年、「慶応」から「明治」に改元されてちょうど150年、つまり明治150年にあたり、あの時代が「グローバリズムと国の自立」という現代の課題に答えてくれるのではないかとのことです。明治の日本も西欧列強のパワーで開国を余儀なくされたうえ、独立・自立をどう保つかという難題にさらされていました。その中で日本はみごと近代化に成功、列強による植民地化を免れたうえ、いくつもの国難を乗り越えることができました。これは当時のアジアの中で「奇跡」としか言いようがありません。そんな「奇跡」を可能にしたのは、国の分裂や植民地化を避けるため自己犠牲もいとわなかった「明治の精神」でした。その精神が最もよく結実したのが大日本帝国憲法（明治憲法）であり、この憲法がまた新たな「奇跡」をもたらせたのです。

明治憲法は明治22（1889）年2月11日、明治天皇が制定するという「欽定憲法」として発布されましたが、実際には伊藤博文や井上毅（こわし）ら政府要人により草案が書かれ、天皇諮問機関である枢密院での半年以上の議論を得て制定されたものです。第一條は「大日本帝國ハ萬世一系ノ天皇ヲ統治ス」とあり、立憲君主制の国家を強く打ち出しています。

これに対し、現憲法を「絶対善」とする今の護憲派は「民主的に制定されていない」「天皇に全権を与える絶対主義に立脚している」などと批判しますが、これはあまりに皮相的です。逆に現代でも高く評価する意見もあります。憲法学者の小山常実氏は著書「『日本国憲法』『皇室典範』無効論」の中で明治憲法の特質を次のように書いています。

1. 日本の独立を目指し、日本人が自分たちの手で作った憲法。

2. 日本固有の原理を国際的普遍的原理より上位に位置づけた憲法。

このうち二は特に重要です。「日本固有の原理」とは第一條に描かれた日本の「国体」を示しているからです。この第一條の草案を書いたのは法制局長官だった井上毅です。憲法第一條には「国体」を示すべきだと考えた井上は、「日本の国体」とは何かを求め「古事記」「日本書紀」など古典を徹底的に学びます。その結果日本は「天皇の知らず国」であるとの結論に達します。

井上によれば「知らず」とは、西欧や中国の国王や皇帝が領土や人民を我がものとして支配する「うしはく」と異なり、天皇や皇祖が人民の心や願いを自らの心に映しとり治めるという意味です。このため井上は草案で第一條を「日本帝國ハ萬世一系ノ天皇ノ治（シラ）ス所ナリ」としました。これを受けた伊藤も基本的に賛成だったのですが、「治ス」も英訳すれば「統治」になる、とし、「天皇之ヲ統治ス」と改めました。しかし伊藤の名前で出された明治憲法の公式解釈書である『憲法義解』には「統治」と「シラス」が同義語であると認め、井上の「国体論」を採用しています。その結果「天皇の知らず国」は国民に広く受け入れられたばかりか、いわゆる民権派の「君民共治」なのか保守派による「君主主権」なのかという西欧流の論争にも終止符をうったのです。そして日本国民は幕末以来の維新勢力と旧幕府勢力、あるいは新支配層と一般国民との対立を乗り越え、驚くべき団結心を獲得、日清・日露両戦争など幾多の国難を乗り越えることができました。そうしますと今、憲法論議で必要なのは改憲か護憲か、第9条をどうするのか、という前に、日本のあるべき姿は何かを論じることだと思えます。

閉会点鐘

小田 孝志会長

出席報告

山田 丈夫会員

会員数	34名	ゲスト	18名
出席数	19名	ビジター	2名
欠席数	15名	12/7 修正	76.67%

### 卓話予定

- 1月18日 干支学から見る酉年の傾向  
高島曆著者・東京恵比寿 RC 井上象英様
- 1月25日 歴史の駅 高橋 秀華様
- 2月1日 休会（2/2 地区大会に振替）

創立/1993年10月13日(平成5年)  
事務局/〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-2  
グランドメゾン九段906号  
Tel: 03-3288-7300 Fax: 03-3288-7400  
E-mail: ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp  
<http://tokyo-orc.jp/>

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30  
例会場 ホテルグランドパレス Tel: 03-3264-1111  
会長 小田 孝志 幹事 奥山 聡  
会報 八木 壮一(委員長) 松島 健(副委員長)  
大原正道 佐々木啓策 山下秀一 山下憲男(委員)